

いなむら市長の「い〜なこの街 尼崎」 12月

テーマ：「就任一年」について

DJ(林)

さて、平成22年12月12日。稲村市長は、尼崎市長に就任をされました。最年少の女性市長、さらには全国初の2代連続女性市長であったこともあって、多くのメディアに取り上げられ、全国でも話題となりました。

あれから早くも1年。今回は、この1年を振り返ってお話しをお聞きしたいと思います。

市長

はい、よろしくお願いします。

DJ(林)

まず、市長にとって、この1年はどのような1年でしたか？

市長

そうですね、やっぱり、あっという間だったなと思います。無我夢中の1年でした。

1年目ですので、何もかもが初めてのことばかりなんですよ。最初は緊張もしますし、これは一体どういうことが狙いになっているのかということを考え、説明を聞きながらですので、そういう意味では、めいっぱい走り続けてきたという感じの1年でした。

DJ(林)

そうでしたか。市長というお仕事をされていくうえで、大切にされてきたことは、何でしょうか？

市長

これはやっぱり、市民目線、市民感覚っていうのを常に忘れないでいたいということ、自分の中で1番重視をしてきたつもりです。

市民の方のご意見を聞いて、なるべくそういった声にしっかりと応えられる、市民の役に立つ市役所を作っていきたいという思いで、頑張ってきたつもりなんです。

DJ(林)

どのようなことに苦勞をされましたか？

市長

そうですね、今尼崎市は非常に厳しい財政状況が長いこと続いています。そういった中ではどうしても、市民の皆さんの生活に直接影響の大きい色んな施策の見直しも、踏み込んでやっていかないといけない状況なんです。

そういったことを1つ1つ、市民の皆様には財政状況も共有をしていただいて、どういった考え方でこういったことを見直ししていかざるを得ないのか、そういった説明責任をきちんと果たしていく、しっ

かりと市民の皆さんにも納得をしていただく、こういったことはやっぱり口で言うほど簡単なことではありません。

非常に苦勞が多いと言いますか、難しい面だなと思いますけれども、でもやっぱり、ここをしっかりとやっていきたいという思いで市長選挙にも挑戦をしましたので、これからも頑張っていきたいなと思っています。

DJ(林)

さて、市長のやりがいて、どのようなところでしょうか？

市長

先ほども申し上げたんですけれども、やっぱり今、財政が厳しいです。そういう意味では、あれをやるうこれをやるうっていうよりは、どういう風に責任のある財政運営をしていくのか、逆に、そういう持続可能な街づくりに向けて、どういったことを、先を見通して今からやっていけないといけないのか、そういったことを考える時期になっています。

私も子どもを育てながら市長をさせていただいて、やっぱりこの子たちに胸を張れる、そういった街づくりをしていきたい、しっかりとそういった持続可能な状態にした街をバトンタッチで引き継いでいきたい、そういう思いを本当に強く感じています。

そういった意味ではすごく大変なことも多いんですけれども、私たち大人の背中を見て次の世代の人たちが育っていくんだと思うと、しっかりその人たちに恥じない市政運営をやっていこう、そういうことにやっぱりすごくやりがいを感じます。

DJ(林)

さて、特に重点的に取り組んでこられたことは、何でしょうか？

市長

はい、尼崎市は皆さんもご承知のとおり産業都市として発展をしてきました。でも一方では公害に苦しみ闘ってきた街でもあります。

そういった尼崎市で今、環境と産業の共生によって地域経済を活性化していこう、尼崎版グリーンニューディールを進めていこうということで取り組みをしています。

また尼崎市のイメージをもっともっと良くしていこう、街の魅力を私たちも共有して発信していこうという、シティープロモーションの推進などにも取り組んできました。そして一方では、厳しい経済状況の中で生活保護を余儀なくされる方が増えているんですけれども、そういった皆さんの自立支援の取り組みですとか、そういったことについても力を入れてきたところです。

また東日本大震災の発生を受けての被災地への支援、そして尼崎市の防災力の強化にも取り組んできました。本当に皆さんにご協力をいただきまして、本当に感謝を申し上げたいと思っています。

DJ(林)

さて、今後の課題は何でしょうか？

市長

そうですね、宿題になっているなと思うこと、実はたくさんあるんですけども、特に、市役所の中で職員のモチベーションをもっともっと上げていく、そして、研修の充実ですとか、みんなのそういったやる気を引き出していくような人事制度の改革。そういった点をもっと進めないといけないなと思っていて、来年以降はそういったところも、もう少し踏み込んでいきたいと思っています。

DJ(林)

最後に、2年目の目標についてお願いいたします。

市長

はい、この1年本当に、走り続けてきたという実感なんですけれども、今後に向けて着実にいろんなことの準備を進めてきたつもりです。

実は来年度大きな組織改正も予定をしています。そういった体制を整えるということをしっかりやってきた1年目ですので、2年目はいよいよそれを実行に移して、実践に入っていくということになります。

皆さまのご協力やご指導をしっかりといただきながら、受け止めながら力を合わせてそれを前へ進めていきたいと、そんな風に思っています。

DJ(林)

期待しております。

それでは、稲村市長、本日もありがとうございました。

市長

はい、ありがとうございました。